

岩谷堂高等学校
吹奏楽部OB会

会 報

第64号 2015. 12. 23

岩高吹奏楽部
OB会事務局
〒023-1111
江刺区大通り3-17
とこやさんやなぎ内

近況などなど

会長：菊池智義 (S61 卒)

正直、会報（会長挨拶）も『ねたぎれ』になってしまいました。で、近況報告的な内容を募集した所なんと来たのが、たったの3件！（爆）

でも内容・ボリューム共に非常に充実したものを頂きました。

お忙しい所、お手数お掛けしましてすみませんでした。

また、改めて、心より御礼申し上げます。（以下、ご紹介致します）

◆近況報告 佐藤勇一(S60 卒)・直子(S61 卒)

長女加奈が結婚し、来年4月に孫が生まれます。お互いにじいちゃん、ばあちゃんと呼びあってます。（笑）

※脚注 すごいなあ。

◆岩井直溥先生の思い出 菊池憲一(S41 卒)

ニュー・サウンズ・イン・ブラスの生みの親、吹奏楽ポップスの巨匠、岩井直溥先生が、2014年5月10日に90歳でお亡くなりになりました。

私が所属しております『盛岡吹奏楽団（以下もりすい）』の第11回定期演奏会（1979年11月）の第II部で客演指揮者として初めてお願いをしてから、30年以上に亘りご指導をいただきまいました。私が初めて岩井先生のお名前を知ったのは中学で吹奏楽（当時はブラスバンドと言っていました）を始めた頃に、バンドジャーナル誌に付録で付いてくる楽譜の編曲者にそのお名前を見つけた時と記憶しております。

私が自衛隊に入隊して3年目に岩手で第25回国民体育大会が開催されましたが、その入場行進曲『躍進』『岩手』の2曲が先生の手によって作曲され、1年ほど前からの式典音楽隊練習会には先生が来盛され、直接指導を受けることができました。

もりすいの定期演奏会も10回目ぐらいまでは何となく勢いに任せての企画・構成でやっていたのですが、いよいよ目玉となるべきものを模索していた際に「岩井先生を客演に！」との話が持ち上がり、当時の団長 岩井英輔氏が先生に電話でお願いをした所、「岩井繋がり」でOKを貰ったという、嘘の様な本当の話でお付き合いが始まったのです。

初回となった第11回もりすい定期の為のポップス練習では、スウィングのリズムを体で覚えるのに、かなり時間が掛かったのですが、本番では先生のステージでのショーアップパフォーマンスにも助けられ、今までに無い程の楽しいステージを経験できました。

『あれから30年… (?)』

副団長をしていた私は毎年の演奏会時期になりますと、事前指導に来られる先生を盛岡駅へ迎えに出向き、ホテルのチェックインをした後まずは夕食（といっても先生は必ずビールと数品のおかず）を済ませ、合奏が終わると役員団での接待で2時間ほど先生を囲ん

で音楽談義…のみならず、旧軍時代の話からプロのトランペットプレイヤー（元東京芸術大学時代はホルン専攻）時代のかかり稼いだ話、有名な音楽家のあまり人には言えない様な話、はたまた御多分に漏れず色っぽい話などなど…私はいつも飲まずにお付き合いをして先生をホテルまでお送りして任務終了となるのでした。

2013年のもりすいのコンクールでは、先生の課題曲6作目となる『復興への序曲 夢の明日に』を演る事になり、9月に青森市で行われた東北大会では実に40年ぶりとなる金賞を戴く事ができたのでした。長い間先生から頂いたご指導を生かした演奏が評価されたものと、メンバーが手を取り合い、涙しながら喜んだのでした。

それから8ヶ月後、先生は帰らぬ人となってしまったのです。

その半年後の第46回もりすい定期は、当然のごとく岩井先生追悼演奏会として企画させていただき、I部では『躍進』と先生が残された6曲の課題曲を、II部では過去の定期で取り上げた先生のアレンジによる懐かしい曲、主に10曲を、天国の先生に届けとばかりに、涙ながらに演奏させて頂きました。

生涯3,000曲以上に及ぶ作・編曲作品を残されるとともに、東京佼成や全国の自衛隊音楽隊などのプロのバンドのみならず、多くの学生バンド、社会人バンドのご指導に情熱を捧げられた先生に深く敬意を表するとともに、そういう偉大なお方と30年以上に亘ってすぐ側でお付き合いをさせて頂いた幸せを噛み締め、今なお思い出すと目頭の熱くなるを禁じ得ませんが、改めてご冥福をお祈りしたいと思います。

岩井先生！本当にありがとうございました！！

合掌

※脚注 一部の文字の変更と改行を行いました。

◆無題 後藤幸市(S42 卒)

頑張ってください。

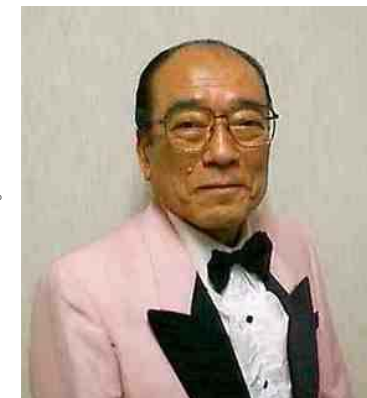
※脚注 本意は「自分は原稿を出す事は出来ないけど、頑張ってください」旨の内容だとは思いますが、折角頂いた返信ですので掲載させて頂きました（笑）

< 岩井直溥 - Wikipedia より >

陸軍中将で男爵の野崎貞澄の孫として東京牛込に生まれる。父の岩井貞麿は音楽教室経営者で、柴田南雄のピアノの師。母は帝国劇場のリハーサルピアノプレイヤー。

昭和17年 東京音楽学校（現東京芸術大学）器楽科（ホルン専攻）。翌年に学徒出陣により旧大日本帝国陸軍に入隊。朝鮮半島へ出征。

終戦後ジャズの世界にとびこみ、トランペットを演奏。ニューフェローズを結成し、東京都中央区銀座のアメリカ合衆国軍のナイトクラブで演奏。その後各バンドを経て“フランキー堺とシティ・スリッカーズ”（1954 - 1959 頃）へ。これは当時のアメリカ合衆国のコミックジャズバンド“スパイク・ジョーンズ&ザ・シティ・スリッカーズ”に範をとり、フランキー堺をはじめ、谷啓、植木等、桜井センリらを擁した16人編成のバンドであった。1959年に東芝イーエムアイの専属となり、尾藤イサオ、山下敬二郎、森山加代子、弘田三枝子、スリーファンキーズなどの作曲、編曲を手がけた。



ごあいさつ

顧問 相沢雅弘 松田周見 部長 菅野昭太

今年も定期演奏会も51回目を迎えることができました。次の節目に向けた新たなスタートを切ることができたと思います。特に第2部の合同演奏では、普段聴くことのない大人の演奏に間近で触れることができ、部員たちも大変感動していました。演奏会を無事終了することができましたのは、OBの皆様のご協力のおかげです。改めて御礼申し上げます。

さて、今年度は9名の新入部員を加え、総勢27名での活動を開始しました。新入部員9名のうち8名が経験者ということで、大変心強く思いながらのスタートでした。日々練習を積み重ね迎えた7月のコンクール地区予選では、広瀬勇人作曲「アカシアの樹」を自由曲に小編成の部に出場しました。結果は銀賞ということで県大会への出場はなりませんでしたが、全員で一つの演奏を創ることの難しさを痛感し、一人一人が練習への取り組みを見直すきっかけになりました。

3年生引退後、1年生が新たに2名加わり、現在は22名で活動しています。コンクールや定期演奏会への取り組みで得た経験を踏まえ、目の前に迫っているアンサンブルコンテストに臨ませたいと思います。また、昨年に引き続き、他の団体との交流や同じステージで演奏する機会がほとんどありませんでした。今後の残り少ない行事を通して、吹奏楽部の活動が更に有意義で充実したものになるよう、アドバイスしていきたいと思っております。

OBの皆様方におかれましてはご迷惑なことはと思いますが、機会がございましたらぜひ部室にいらしていただき、部員たちへ叱咤激励していただければ幸いです。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

毎年恒例『来てみりゃ楽しい新年会』

1月3日 午後6:00 江刺一中交差点「味香」

会費 3,500円の格安値段!!

そして、なんと卒業後4年目までは1,000円だ!!

参加の連絡は下記から簡単な方法を選んでお願いします。

- ① ykr.さとなお@docomo.ne.jp にメール さとなお に電話
- ② 「奏苑」でHP検索し連絡フォームから
- ③ 携帯で左をピツとしてそこからメール



なにかとタイヘンだと思いますが振り込み用紙同封の皆様へ 会費納入のお願い・・・。

会費は卒業年度～4年目まで 500円

5年目～11年目 1500円

12年目～ 2500円

第8回奥州市民★文士劇

原作 吉川英治 ●脚本 道又力 ●演出 長掛憲司 ●監修 高橋克彦

宮本武蔵

— 剣の道 恋の道 —

◆主催◆ 江刺体育文化会館 奥州市民★文士劇実行委員会

◆主審◆ 特定非営利活動法人 いわてルネッサンス・アカデミア

◆後援◆ 奥州市教育委員会 奥州商工会連所江刺支所 岩手江刺農協同組合 江刺芸術文化協会 江刺青年会議所 江刺婦人連合会 岩手日報社 岩手日日新聞社 奥江日日新聞社 奥州新聞地所支局 朝日新聞地所支局 毎日新聞地所支局 NHK盛岡放送局 IBC岩手放送 テレビ岩手 めんこいテレビ 岩手朝日テレビ エフエム岩手 奥州エフエム えさしわいらいネット

平成28年 1月30日(土) 開場15:30 開演16:00

1月31日(日) 午前の部/開場10:30 開演11:00 午後の部/開場15:30 開演16:00

江刺体育文化会館 ささらホール

[入場料] 前売:1,500円(当日:2,000円) 全席指定
小学生未満の方の入場はできません。

平成27年12月1日! ◆フリーガイド SSMサンエー、江刺体育文化会館ささらホール、奥州市文化会館Zホール、前沢ふれあいセンター、胆沢文化創造センター ◆チケット発売開始

問合せ先・事務局/江刺体育文化会館ささらホール 奥州市江刺区大通り1-59 TEL/FAX 0197-31-1607 E-mail=sasara@pup.waiwai-net.ne.jp

毎年、文士劇のチラシ・ポスターは凝っていて格好良いのですが、今回は特に良いので載せてみました(埋め草?)